



**第1955回 例会**

2014-15年度RI会長: Gary C.K.Huang  
 第2640地区ガバナー: 辻 秀和  
 創立: 昭和49年5月15日  
 会長: 谷中 順次郎  
 幹事: 岡本 博  
 会報: 稗田 智則



**VOL41 No. 20**

**2014年11月19日 (水)**

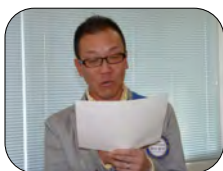
事務所: 田辺市下屋敷町81-10  
 きのくに信用金庫田辺支店3F  
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008  
 E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp  
 例会: 毎週水曜日 12:30~

**司会者** 谷中 順次郎 会長

**唱歌**

” 旅愁 ”

野村憲司君



**ゲスト**

田辺米穀株式会社  
 代表取締役社長 柏木壽夫 様

**ビジター**

田辺RC 杉若貴之 様

**出席報告**

会員数	義務免除	欠席者数	本日出席率
45名	3名	16名	61.90%
11月5日修正出席率 95.12%			

**ニコニコ箱**

(敬称略)

◇本日はお越し頂き有難うございます。宜しくお願ひします。 田辺米穀株式会社 柏木壽夫 様  
 卓話謝礼をニコニコ箱に頂きました。

◇宜しくお願ひします。 田辺RC 杉若貴之 様

◇本日は田辺米穀株式会社 社長 柏木様、お世話になります。 泉 房次朗

◇田辺米穀株式会社様におじゃまして。 全員の方からいただきました。有難うございました。

愛須 勝章、後藤 信博、畑地 誠、本田 耕二、石井 達、片井 貢、木村 壽一、前田 吉彦、畔田 実、丸山 博之、森本 修至、中川 文恵、中嶋 伸和、那須 壽子、野村 憲司、岡本 博、沖 史郎、佐田 一三、武田 静也、上原 俊宏、谷中 順次郎、浦地 章、渡口 眞二、山本 亘、安井 忠雄

■11月12日の定例理事会の報告を致します。

- ◎次次期会長候補者、次期理事候補者選考報告を承認。
- ◎年次総会を12月3日(水)に開催することを承認。
- ◎新年家族例会を1月7日(水)にハナヨさんで開催することを承認。
- ◎R財団地区補助金を田辺市子どもクラブ育成協議会へ助成する件…目録を作成し、贈呈する。承認。
- ◎新人歓迎会をメーキャップとする件…否認とする。
- ◎クラブ内規変更の件…10月22日の臨時理事会での懸案であった事項の解決に伴い、承認。

**幹事報告**

■例会日時変更

◎海南東RC

12月 1日(月)→ 12月 1日(月)18時30分~

場所: 「美登利」 海南市船尾185

12月29日(月)→ 休会

2015年 1月 5日(月)→ 1月 6日(火)18時30分~

場所: 和歌山マリーナシティホテル

<40周年記念式典・祝宴 新春夫婦例会>

■メークアップ

◎11月12日(水)定例理事会

泉君、木村君、森本君、岡本君、坂本君、武田君  
 竹村君、谷本君、谷中君、吉田君、吉本君

◎11月18日(火)田辺はまゆうRC

橋本君

■連絡

◎本日は移動例会の為、回覧等は配布しておりません。  
 よろしくお願ひいたします。

**会長報告**

■本日は職場見学ということで、田辺米穀株式会社様にお世話になります。

お食事の後、田辺米穀株式会社 代表取締役社長 柏木壽夫様より、会社の説明をしていただきます。

後ほど宜しくお願ひ致します。

尚、お手元にあります紙袋は田辺米穀様でお取扱いされている商品の一部をお土産に頂いています。

有難うございます。

■11月20日(木)、箕島高校に於いて、RI第2640地区米山記念奨学生によるワークショップが開催されます。地区委員の坂本正人君に出席していただきます。ご苦勞様ですが宜しくお願ひします。

田辺米穀株式会社  
代表取締役社長

柏木壽夫 様



本日は当社で田辺東ロータリークラブ様の移動例会を開催して頂きまして誠にありがとうございます。

それでは、田辺米穀の成り立ちと共に名前とはうらはらに米以外の商品の取扱がどのようなものなのかという事を簡単にご説明させて頂きます。商品について詳しくは後に現場をご案内致しますのでよろしくお願い致します。

田辺米穀は昭和27年、私の生まれる4年前に田辺市中屋敷9番地に設立されました。中屋敷といってもその場所は現在でも福路町の角といったほうがわかりやすいかもしれません。今は道路拡張で一部道路となっていますが、秋正のかまぼ屋さんの前の角に有りました。

### 現在の中屋敷町9番地



その前身は私の祖父 柏木藤吉が本町で家業として米、麦、雑穀などを販売しており、米の卸売組合の理事長も兼ねておりました。丁度戦後の食糧は統制下において米は配給制でしたが、米以外の穀物が自由販売となったところでした。そこで、組合にくらべて商業活動が活発にできるように各米穀店さんなどから出資を募って、麦や雑穀を販売する株式会社を設立しました。この時に、将来はきっと米も自由化されるからという事をもくろんで、社名を田辺米穀株式会社と致しました。米の販売が自由化されたのは平成16年ですので、その間50年間以上は米を販売していないのに田辺米穀という名前だったわけです。

現在は少しは扱っておりますが、それでも米以外の商品の方が圧倒的に多くなっています。

祖父柏木藤吉が田辺米穀の初代社長を務めました。柏木藤吉は田辺米穀設立の翌年に創立された田辺ロータリークラブのチャーターメンバーで昭和35年-昭和36年度に会長を務めました。

## 現在の大師通り



会社は中屋敷で営業しておりましたが、昭和37年に大師通りに移転し、その後に湊塔の内（宝来町）のいわゆる卸団地に昭和47年に移転しました。この頃までは配送については卸つまり私共の仕入れであってもトラックに積み込んだ商品の手降ろし、手積みが当たり前の時代でした。仕入れ荷物が大量に着く度に、荷下ろし整理の作業が待っていました。

愛宕トンネル

造成当時の卸団地



### 湊塔の内(現 宝来町)時代の田辺米穀本社



その後、そういったことを合理化するために、フォークリフトによるパレット荷扱いが可能な大きい倉庫がどうしても必要となり、昭和60年に新庄町の営林署の貯木場跡地に物流センター倉庫を建設し移転しました。

そして、それでもだんだん手狭になり、平成8年からほぼ隣接の紀州物産さんの製材工場跡地をお借りして第二倉庫として追加して営業しておりました。

倉庫建設後27年経過して修繕する部分が少しずつ増えてきましたので、2カ所の倉庫を一カ所に集約化すること、内装等の老朽化対策、物流上の立地政策、防災対策などの総合的な観点から昨年の4月にここの上富田の企業団地に新倉庫を建設して移転し現在に至ります。このように田辺米穀は何回も引越をしておりまして、この場所は5カ所目となっています。

取扱品は最初は麦、雑穀、豆（小豆、大豆）などから小麦粉、砂糖などを販売しておりました。そして食品スーパーの誕生とともに加工食品（缶詰、インスタントラーメン、即席カレー、缶飲料）なども取扱を開始致しました。それと共に、当地方で名産の梅干しが徐々に全国的に売れ出した頃に、それまでは各梅干業者さんが個別に手配されていた調味料の原材料について私共を倉庫代わりに使って頂く形で梅干し関係の原料調味料の取扱を始めました。その後取扱が拡大し、現在では田辺周辺、みなべ地区の多数の梅干し製造業者様に取引をして頂いております。

食品の取扱も最初は常温商品だけを扱っておりましたが、時代の変化と共に温度帯の低い商品の需要が高まってきており、それに対応すべく、冷凍食品、アイスクリーム、低温日配食品なども扱うようになり、先ほど申し上げました紀州物産さんの製材工場跡の倉庫の中に冷蔵庫と冷凍庫を建設致しました。その他にあまり知られておりませんが、かまぼこの原料の水産加工品や、鮮魚、牛肉、豚肉、鶏肉、焼き肉用のホルモンまで小規模ですが扱っております。尚、時代と共に取扱をやめた品目ももちろんあります。初期の頃取り扱っていた家畜の飼料、またアイスクリームは現在は取り扱っておりません。

それから、会社の看板にしております「塩の田辺米穀」についてもお話申し上げます。

塩は専売制度による商品で昔の大蔵省の管理下の専売公社から許可を受けた元売りだけが卸販売をしておりました。私の祖父の柏木藤吉が別の家業として塩の元売りを行っており、こちらは戦後すぐ昭和22年に田辺塩業として株式会社が設立されました。田辺ロータリークラブ現会長の宮本恭平さんのお父さんも参加され、南部地区の塩の元売りを田辺塩業株式会社南部営業所として活動されておりました。梅干し用のような好調なもの以外の塩の需要は全国的にはその後年々減少していたため経営合理化策として昭和50年代以降、元売り業者の統合が当時の大蔵省の指導で行われました。田辺塩業は和歌山市の和歌山塩業と合併して紀伊塩業となりさらに合理化が進められ、大阪の南海塩業に吸収統合され、塩の自由化とともに近畿一円の元売りとしてさらに統合されてソルト関西株式会社が誕生し現在に至ります。現在同社と私とは会社としての取引以外の資本関係は有りません。そして、和歌山県は面積が広く物流的に自社で全域を力

バーすることが難しかったので、平成14年から御坊以南についての営業権をソルト関西が当社に任せることとなりました。

(この場所です)

塩の田辺米穀



この時に田辺周辺の人や梅農家の方々に田辺米穀が塩を扱うことになじみがないことから宣伝のため最初トラック3台に今と同じ「塩の田辺米穀」という表示をつけて配達をしておりました。その後、さらに表示をつけた車を徐々に増やし、現在では新宮方面の支店、出張所も含めたトラックの全てと殆どの営業車にも「塩の田辺米穀」を表示しており、毎日34台が紀南地方を走っています。最近では、会社のロゴマークとして封筒や各種書類関係にも表示するように致しました。ここの建物にも看板として左側側面に大きく表示しています。

祖父の柏木藤吉のロータリーでの職業分類は米穀卸売業でした。また、父の柏木喜久一の職業分類は塩販売業でした。そして私はそれらを含めた食料品販売業となっています。

今日は私共の企業内容を皆様方にご紹介できる貴重な機会を頂戴致しました田辺東ロータリークラブの皆様へ感謝申し上げます。またこれからも皆様と様々なご縁と共にお付き合い頂きますようお願い申し上げます。本日は誠に有り難うございます。



田辺米穀株式会社  
社長 柏木壽夫様  
本日は職場見学をお引き受け頂き有難うございました。

社員の皆様、会場の設営から、例会中の美味しいコーヒー、帰る時のお見送りまで、皆様には大変お世話になりました。有難うございました。

